



大団円

～校長室より～

寒さに耐えて育つ子に！
力を蓄えて春を迎える！

三学期が始まるのと歩調を合わせるように、厳しい寒さが続いています。

寒さにじっと耐えながらも、今年やらなければならないことに意欲的に取り組むことのできる「久玉っ子」であってほしいと願っています。始業式では、「伸ばす・伸べる」三学期にするために、「○寒さに負けない心と体をつくる」「○よいこと・しなればならぬこと」を、進んで実行しよう。

と、確認したところです。

寒さに負けず、春からの活動に生み、蓄えた力を春からの活動に生

本当は怖い 子どものスマホ

ケータイスマホに関する児童犯罪があつとを絶ちません。事件の影にスマホあり、とも感じられます。

確かにすごく便利であるということは事実です。そして、言われているほど、私たち自身もトラブルにも遭遇していない、と思われる方もいるかもしれませんが、子どもたちがトラブルに巻き込まれる確率は、低くないのです。

その理由のひとつは、コミュニケーションをとる技術が未熟である。大人は子どもたちほどは、友人関係でもめませんよね。それは、大人には、回避する能力があるからです。

もうひとつは、ネット社会の危険性について、熟知していないということです。(危険性の周知は次号に掲載します)

今日、掲載している資料は、ネットで出会い、犯罪に巻き込まれた被害児童と被疑者のデータです。もちろんここが上がってこない未遂事件等も相当数あることもお知りおきください。

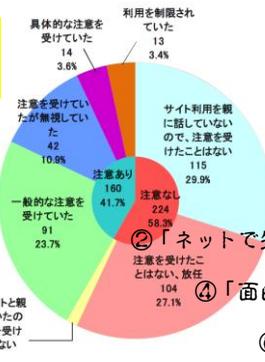


【校訓】
 やさしく
 かしこく
 すこやかに

平成28年2月15日
第36号

天草市立久玉小学校
 学校通信
 編集代表
 校長 本田勝則

被害児童の半数以上が、そのサイトを使ううえでの注意を保護者から受けたことがない。

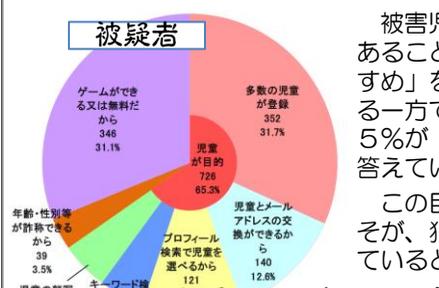


買ってあげることは保護者の義務ではありませんが、その危険性を知らせることは保護者の義務だと思います。「危険性を知らせること」「約束を決めること」この2つはぜひやりましょう。

(右はしは回避したい危険性ベスト6です)

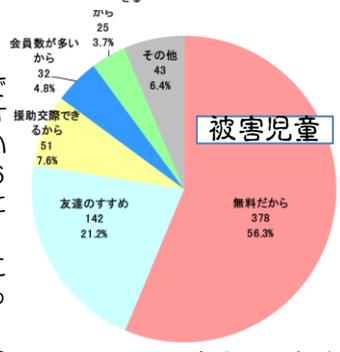
- ①「ネット依存に注意」
- ②「ネットで知り合った人と会わない」
- ③「いじめに注意」
- ④「面白半分を投稿が命取りに」
- ⑤「高額請求に注意」
- ⑥「個人情報盗まれる」

被害児童がそのサイトを利用したわけと、被疑者がそのサイトを選んだ理由は、同じである。



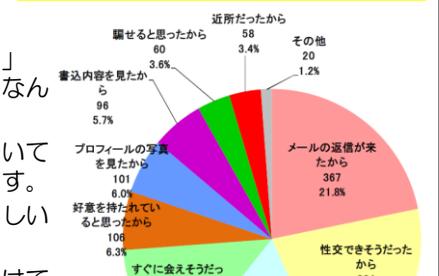
被害児童は、「無料であること」「友だちのすすめ」を理由に挙げている一方で、被疑者は、65%が「児童が目的」と答えています。

この目的のギャップこそが、犯罪の温床になっていると考えられます。



次号「回避したい危険性と家庭でとるべき対応」特集

被疑者が被害児童を選んだ理由は、メールの返信が来たからである。



だれの言葉でしょう？

一心不乱に働くこと、ベストを尽くすことが嫌だというなら、ここは君のいるべき職場ではない

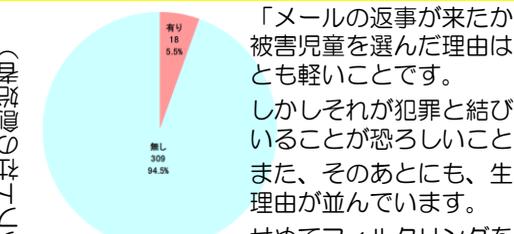
（答えはこの通信の左下です）

マイクロソフト社の目標は、「すべての機とすべての家庭にコンピュータを」だつたそうです。実際には、スマートフォンの開発により、それ以上の普及をしたコンピュータです。

便利なこのツールをどう使うか、諸刃の剣です。まだ成長途中の子どもたち、使い方をレクチャーすることは、ご飯を食べさせるのと同じように親の大事な使命です。

今日は本田校長先生が教員になって13468日目
 そして、平成28年3月31日は13513日目

被害児童のじつに94.5%がフィルタリングを解除していた。



「メールの返信が来たから」被害児童を選んだ理由は、なんとも軽いことです。

しかしそれが犯罪と結びついていることが恐ろしいことです。また、そのあとにも、生々しい理由が並んでいます。

せめてフィルタリングをかけていれば、と考えるのは私だけでしょうか？



被疑者が犯行に及ぶまでの時間で最も多いのは被害児童と知り合ってから1日～2日以内である。

出会って翌日までに犯行に及んでいます。つまり被疑者の目的は明確です。なりすましや経歴詐称もFREEの世界です。

どうして、会う人が安心だと言い切れるのでしょうか？